

東北大学（青葉山3）環境科学研究科総合研究棟改築Ⅱ事業 サウンディング調査結果の公表について

令和5年5月31日
国立大学法人 東北大学

<事業概要>

1. 目的

本事業は、経年38～56年を経過し機能の陳腐化、老朽化が著しい「環境科学研究科研究棟・講義棟等」の改築整備及び維持管理業務です。本施設では、レイアウト変更や拡張性を求める最先端装置群の性能を最大限に生かす環境を創出して、各種再生可能エネルギー利用や蓄電池・水素等の技術に関する研究、資源循環やエネルギーマネジメント、さらに農林水産業のゼロエミッション化等のカーボンニュートラル技術の社会実装を加速させる研究拠点を整備し、長期間にわたって適切な維持管理業務を行うことを目的としています。

本事業の実施に当たっては、国立大学法人東北大学の財政負担の軽減並びに民間の資金、経営能力及び技術的能力の活用を図るため、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づく事業として実施することを予定しています。

本事業における市場性の有無、民間事業者の意向等を把握することを目的とし、民間事業者と個別に対話を行ったので結果を公表致します。

2. 整備施設概要等

事業計画地：青葉山3団地（青葉山新キャンパス）

計画事業：

事業	施設名	構造	施設規模
新築（Nearly ZEB）	2号館	RC5（免震）	5,000 m ²
取り壊し	全6棟	RC造等	合計4,605 m ²
維持管理	2号館・本館	RC5、RC5	5,000 m ² 、4,977 m ²
レンタルラボ・オフィス運営	2号館	-	302 m ²
附帯施設	提案による	提案による	提案による

<サウンディング調査結果>

3. 実施スケジュール

- ・ 令和5年2月27日 サウンディング調査実施要領のHP公表
- ・ 令和5年2月27日～令和5年3月24日 サウンディング調査の実施
- ・ 令和5年5月31日 サウンディング調査結果の公表

4. サウンディング調査の参加者

1) サウンディング調査参加者

建設業：10者

5. サウンディング調査結果の概要

1) 参入意欲

条件が整えば参入したい：10社／参加事業者10社

<必要な条件>

- ・現状物価水準に見合った予定価格。
- ・事業実施中の人員確保（特に工事に係る人員）。
- ・事業に必要な企業との連携体制構築。
- ・コストに重きを置くのではなく、提案に対する評価に重きを置く評価方法。

2) 主な回答

① 附帯事業に関する回答

- ・カフェ、レストラン、コンビニ、レンタルラボ、民間企業の事務所等。

② 環境への配慮した施設整備に関する回答

- ・ZEB、再生可能エネルギー（地中熱、太陽光発電、太陽熱、蓄電池等の活用）、地域産材の自然素材（木材、和紙、石材等）を活用した施設。
- ・建物の木質化推進（構造の木のハイブリットや仕上げ材の木利用等）。

③ 事業概要への意見等に関する回答

- ・ZEB、再生可能エネルギー、地域産材を活用する施設とするためには一般的な施設より整備費用が必要。
- ・環境対応や民間附帯事業等を実現するためには、相応の費用が必要となるため、そのリスク分担について大学と民間で適切な分担をしていくことが、民間事業者として参加しやすい事業となる。
- ・附帯事業については、周辺環境から需要面に不安があるので、施設利用の無償化を含めて検討していただきたい。

6. サウンディング調査結果を踏まえた今後の対応

今回のサウンディング調査により、参入意欲、参入に必要な条件、附帯事業等の御提案を頂きました。

今後、サウンディング結果を踏まえて、導入可能性調査を実施し、事業方式や公募条件の整理・検討を行い、民間資金等の活用により整備する可能性等について調査します。